

町を育む古書喫茶

子、育つ 古書と触れ合う 小町喫茶



二階平面図



コンセプト

空き家問題を解決するためには子どもたちに拠点を与えることが重要だと私達は考えた。親元を離れた若者、老人ホームなどに移った老人などが空き家を生活の拠点として活用し、それらを通じた地域活性化を図るようなアイデアが必要だと考えたからだ。

そこで私達が選んだのは「本」だ。

空き家や近くの小学校から本を集められここに並べられる。集まった本は読みに来た子ども達に教育として影響を与える。地域の為に貢献できる若者へと成長することで地域に経済効果などで影響を与え新たなつながりができれば、より子育てにとって良い環境となる。そうなることで外からも家族などが集まる活気あふれる地域になるだろう。



周辺の町並み

プロセス



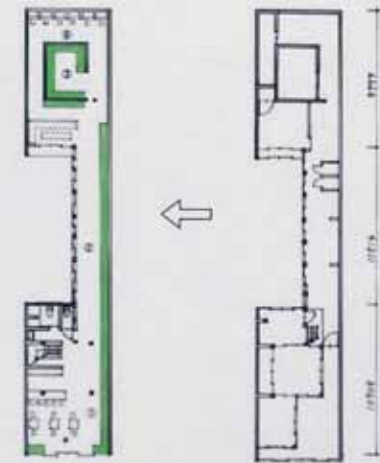
空き家が生まれる 古書を収集する 教育を与える 社会に貢献 地域の活性化 空き家問題の解決



賑やか

静か

前面道路側から見て、緑に囲い静けさがあるため、利用者も安心できる静かな場所を選べる



一階平面図



正立面

ファサードにインパクトとして階段を一目見て理解してもらうために正面を半壁が見えるように設置した。ここに並べられている本は、地域の住民は無料で持ち出す事ができる。



②一列々集めた場所を吹き抜けにして書庫とした



②一本棚の中に読書の様に読める場所を設けた



③一列々の壁は一面本棚と成りインパクトを与える



①前面道路側から静し、静かに読書するスペースを設けた



①100cmずつ違う段差の高さは様々な子供の身長にあう



④二階には、読書や読書を楽しむための読書スペースを設けた

④一列々の壁は一面本棚と成りインパクトを与える